

M I E N O N I J I

みえの虹

三重県生活協同組合連合会

〒514-0003 三重県津市桜橋2丁目135 ハイツフジタ1F

TEL 059-228-9913

FAX 059-228-9915

No.97

2013年3月

第28回 生協大会が開催されました ～だんらんにつぽん 愛知・南医療生協の軌跡～



南医療生活協同組合 地域ささえあいセンター本部長 大野京子氏



挨拶する三重県生協連北村副会長



116名が参加しました

協同組合原則

1995年9月マンチェスター
でのICA大会で採択

- 自発的で開かれた組合員制
- 組合員による民主的管理
- 組合員の経済的参加
- 自治と自立
- 教育、訓練および広報
- 協同組合間協同
- コミュニティへの関与

「第28回 生協大会が開催されました」

2月27日(水)アスト津4階アストホールにおいて第28回三重県生協大会を開催し、生協の役員、組合員ら116名が参加しました。開会にあたり三重県生協連の北村副会長(みえ医療福祉生協専務理事)から「2012年度は国連が定めた国際協同年ということで、三重県においても4つの協同組合が協同した取り組みを行ってきました。この取り組みを2012年度だけのものとせず、今後も協同して取り組んでいきます。また、生協大会は2年ぶりの開催となります。今回は南医療生協の実践の映画「だんらんにつぼん 愛知・南医療生協の奇跡」の上映を中心にした



南医療生協の基本理念

がら、映画のあと、南医療生協から報告をいただく場も設けました。「今回の映画や報告の中から協同組合間の連携や、協同組合のあり方、まちづくりをどうしていくかなどをつかみ、各分野で実践をすすめていただきたい」との挨拶がありました。

この映画は2010年度から2年をかけて、今村昌平監督の一番弟子である竹重邦夫プロデューサーと小池征二監督のもとで作成されました。2012年6月には東京新聞や中日新聞社説で大きく報道され話題となりました。上映のあと、南医療生協の地域ささえあいセンター本部長大野京子氏より報告をおこなっていただきました。南医療生協の基本理念は「みんなちがって みんないい ひとひとりひとりのいのち輝く まちづくり」です。

南医療生協の考える「よい医療・よい介護」の指標は次の4つです。

- ① 社会的な水準が確保されている
- ② 不必要なことは行わない
- ③ 納得と同意に基づいている
- ④ 地域に「ささえあい・たすけあい」のネットワークがある

中でも④を最も大事にされているとのことでした。

印象深かったのは①「まかせて文句を言う」のではなく、「引き受けて考える」へ。②「生協がやる」のではなく「組合員が生協でやる」、③介護難民を出さないま

ちづくり、④「看取りのできるまちづくりを大切にしてすすめていく」というところでした。



だんらんにつぼん 愛知・南医療生協の軌跡の上映

「中部ブロック地方消費者 グループフォーラム」 が開催されました

2月16日(土)名古屋商工会議所にて、「消費者被害ゼロをめざして」をテーマに、中部ブロック地方消費者グループフォーラムが開催され消費者団体、法曹関係者、行政関係者等、144名が参加しました。冒頭、阿南消費者庁長官から、「地方消費者行政活性化基金」が平成24年度補正予算で60億円の上積みされ、さらに次年度で5億円上積みされ、国と地方が協力して新たな事業を企画することが可能になったとの報告がありました。また、昨年12月13日に施行された「消費者教育の推進に関する法律

（消費者教育推進法）」の成立を受けて、消費者庁、文部科学省より報告がありました。

弁護士の島田氏の基調講演では、消費者自らが、公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参加する「消費者市民社会」について提起されました。午後の分散会では、グループにわかれ、意見・交流をおこないました。



基調講演 島田 広氏（弁護士）



参加者は全体で約140名

消費者団体と 東海農政局との 懇談会が開催されました

2月13日（水）東海農政局津地域センターにおいて、消費者団体と東海農政局との懇談会が開催され、県内の各消費者団体とともに三重県生協連、コープみえからも参加し懇談しました。懇談会では、東海農政局から、食の安全と消費者の信頼の確保をめぐる情勢に関する情報提供や意見・質問に対する説明がありました。また各消費者団体からは、取り組みの報告があり交流しました。



三重県生協連、コープみえから参加しました



懇談会のようす

「3・10さようなら 原発パレード」が 開催されました

3月10日（日）に「3・10さようなら原発パレード」が津市お城西公園で開催され、集会及びパレードに参加しました。三重県生協連も実行委員会団体に加わり、脱原発を求めました。実行委員会は、市民団体を中心に30団体が集まりました。参加者は、約600名でした。

集会は、バンド演奏で始まり、うたごえ・エーサーそして集会宣言の確認、そして30名からなるリレートークがおこなわれ、おもしろい発言がされました。そして、約1時間、パレードが行われました。



津市内をパレードする参加者

会員だより

みえ医療福祉生協・コープみえ

県下一斉にバレンタイン行動をおこないました

みえ医療福祉生協

みえ医療福祉生協では、2月13日～14日県下一斉にバレンタイン行動をおこないました。今回は、消費税をテーマにした“模擬”国民投票をおこない、街頭宣伝行動や事業所での聞き取りをおこないました。この行動には、91名（組合員46名、職員45名）が参加し、421筆の署名を集めました。四日市地域での消費税に対する設問では、110名のうち賛成が7名、反対が101名。「消費税増税で、生活は苦しくなると感じますか？」では、そう思うが104名、思わないが5名という結果でした。出された意見として、「生鮮食料品は直ちに無税にして欲しい」「消費税はやめるべき、大企業、高額所得者に応分の負担を求めるべき」「消費税を増税するより、おもしろい予算を削って下さい」などの声が出されました。



コープみえ10周年記念式典が開催されました

コープみえ

コープみえが誕生して10年目の節目を記念して、2月9日(土) 津市の都ホテルにて、コープみえ10周年記念式典とレセプションを開催しました。

三重の消費生活協同組合として「地域づくりへの参加と、くらしの諸課題への取り組み」を、より地域に根差した活動にしていくこと、今後の関係づくりを深めていくことを目的に、厚生労働大臣、国会議員、県議員、行政、県内諸団体、取引先メーカー、全国の生協関係者の方々をお招きしました。また、多数の方にご応募いただいていたコープみえのキャラクター（中央）の名称が「みえっぴい」に決定し、この式典で初めてお披露目しました。これからも未永く可愛がってあげてください！平和で持続可能な社会の実現に向けて、市民一人ひとりがつながりあい信頼してたすけあう三重の地域づくりに貢献していくことを誓い、コープみえは新たなスタートを切りました。



三重県からのお知らせ

食の安全 安心 ミニ情報

トクホ（特定保健用食品）ってなあに？



おなかの調子をよくしたり、血圧が高くなりすぎないようにしたり、体を整える働きのある食品のことをいいます。この食品は、国が審査して認めたもので、特定保健用食品（トクホ）のマークがついています。

理事会だより

第5回理事会

2012年2月7日 13:37～15:27 三重県生協連事務所）
出席理事7名、欠席理事1名、出席監事2名

報告事項

1. 機関会議の報告
2. 活動の報告
3. 日本生協連、県、諸団体等の会議報告

3. 第37回通常総会開催の日程と会場（案）の件について
4. 2013年度会費（案）について
5. コープみえ10周年記念コープみえシンポジウムの後援について

協議決定事項

1. 平和市長会議の未加盟要請の今後（案）について
2. 3.10脱原発三重県実行委員会の参加（案）について

協議事項

1. 三重県生協連2012年度のまとめと2013年度の活動の考え方（案）について